

## 第2学年 国語科学習指導案

日 時：令和5年11月22日(水)公開授業Ⅱ  
対象児童：滝沢市立滝沢小学校2年1組 28名  
授業者：千葉 真由美

- 1 単元名 せつめいのしかたに気をつけて読もう  
教材名 馬のおもちゃの作り方 (光村図書 2年下)

### 2 単元の目標

- (1) 共通, 相違, 事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。  
[知識及び技能] (2)ア
- (2) 事柄の順序などを考えながら, 内容の大体を捉えることができる。  
[思考力, 判断力, 表現力等] C(1)ア
- (3) 言葉がもつよさを感じるとともに, 楽しんで読書をし, 国語を大切に, 思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。  
「学びに向かう力, 人間性等」

### 3 単元について

- (1) 児童について

児童はこれまで, 第2学年の学習「たんぼぼのちえ」で, 順序やわけに気を付けて読む学習を, 「どうぶつ園のじゅうい」では, 時間の順序に気を付けて読み, 読んで感じたことを自分の知識や経験と関係付けながら考える学習を行ってきた。

これらの説明文を読む経験を通して, 内容を具体的に読むことは概ねできてきた。しかし, 内容のまとまりを意識して読んだり, 書かれていることを順序よく説明したりする力は十分身に付いていない。

国語の授業の中での対話については, 第2学年になって, ペアで考えを確認し合う確かめる対話や, グループで考えを話し合う深める対話を行ってきた。また, 自分の考えを書くことについては, 自分の見付けた言葉や文章にサイドラインを引いたり, ノートに書き抜いたりすることを行ってきた。さらに, 読んで思ったことや考えたことを書くことも行っている。

- (2) 教材について

本教材は, 「馬のおもちゃの作り方」がよく分かるように, 述べ方の工夫がされている。一つ目は, 〈前書き〉〈材料と道具〉〈作り方〉〈楽しみ方〉という事柄における説明順序の工夫である。二つ目は, 「まず」「つぎに」「さいごに」などの順序を表す言葉を使った, 作業手順を説明する工夫である。三つ目は, 文章に合わせて写真や図を使う工夫である。更に, 数字を使っの説明や, 読み手へのアドバイスの表現も分かりやすい説明の工夫といことができる。本単元の指導事項「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと」を児童に身に付けることに適した教材である。

また, 本単元で学んだ説明の工夫を使って, 次単元「おもちゃの作り方をせつめいしよう」において, 実際に説明する文章を書いていく。その際, 読み手に分かりやすい説明の工夫の必要性やよさを児童が実感することにつながる。児童が意欲的に, 自分のおもちゃの作り方の説明書を書く活動につなげていきたい。

- (3) 指導について

本単元の指導にあたっては, まず第1時において, 教師が実際に作った馬のおもちゃを提示する。これは「馬のおもちゃの作り方」の説明文を読んで作ったことを知らせ, 教材文への興味と単元のめあてにつなげる。

第2時から第5時では, 教材文「馬のおもちゃの作り方」を読んで, 実際におもちゃを作る活動を通して, 分かりやすかった説明の工夫を見付けていく。説明の順序を表す言葉, 写真と説明の対応, 具体的な数字等が, 作り方を分かりやすく伝えるために使われていることに気付かせたい。そのために, 分かりやすかった言葉や部分にサイドラインを引いた後, 全体で見付けたことを交流することで, 気付きを広げる。そして, 本時では見付けた工夫についてグループでその理由を対話し, その後全体で意見交流することで, 分かりやすい説明の仕方について考えを深めていきたい。

第6時では, 「馬のおもちゃの作り方」から見付けた説明の工夫をまとめ, 自分が使ってみよう工夫を伝え合う。

ICT活用については, 教科書本文を電子黒板で提示し, サイドラインを全体で確認する際や写真と文章を対応させる際に活用する。

#### 4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
共通，相違，事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア	「読むこと」において，事柄の順序などを考えながら，内容の大体を捉えている。 C(1)ア	進んで，時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を捉え，学習の見通しをもって分かりやすい説明の仕方について伝えようとしている。

#### 5 単元計画（6時間）

時間	ねらい・学習活動	評価規準（評価方法）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元のめあてを知り，学習の見通しをもつ。</li> </ul>			
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材文「馬のおもちゃの作り方」全体の&lt;前書き&gt;&lt;材料と道具&gt;&lt;作り方&gt;&lt;楽しみ方&gt;の文章構成を捉える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知（行動観察） （シート分析）</li> </ul>		
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材文の&lt;作り方&gt;を読みながら，実際に馬のおもちゃを作ってみる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>思（行動観察） （シート分析）</li> </ul>	
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;作り方&gt;の中で使われている，分かりやすい説明の工夫を見付ける。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>思（行動観察） （シート分析）</li> </ul>	
5 本 時	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;作り方&gt;の中で見付けた，説明の工夫を整理して，分かりやすい説明の仕方を考える。</li> <li>* 順序を表す言葉を使った作業手順の説明</li> <li>* 文のまとめ</li> <li>* 写真</li> <li>* 数字</li> <li>など</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○思（行動観察） （シート分析）</li> </ul>	
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材文を読んで学んだ，分かりやすい説明の仕方の中で，自分が使ってみたいことを伝え合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○知（行動観察） （シート分析）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○態（行動観察）</li> </ul>

## 6 本時の指導（5時間目/全6時間）

### (1) 目標

＜作り方＞の説明の工夫を整理し、分かりやすい説明の仕方を考えることができる。

### (2) 評価規準

観点	B おおむね満足できる	Bに到達させるための手立て
思考判断表現	＜作り方＞を読んで見付けた、説明の工夫を整理し、分かりやすい説明の仕方を考えている。	順序を表す言葉などに着目させたり、グループでの対話や、全体交流での友達の考えをよく聞いたりさせる。

### (3) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点
導入 2分	1 前時想起	◇対話に関わる指導 □書くことに関わる指導 ●評価 ・前時の学習で、＜作り方＞の説明の工夫を見付けたことを想起させ、本時の課題につなげる。
	2 課題把握	
展開 40分	【学習課題】 せつめいのくふうをせいりして、分かりやすいせつめいのし方を考えよう。	
	3 解決の見通し	・本時の学習の流れを確認し、学習の見通しをもたせる。 ・＜作り方＞の説明の工夫に気を付けながらリレーで音読させる。 ・前時に見付けた、分かりやすかった部分を全体で確認しながら整理し、シートに書かせる。電子黒板の教材文にも色分けして示しておく。 □分かりやすい理由をシートに書かせる。 ◇グループでの対話により、全員が意見をもつようにさせる。 ◇自分と同じか違うか比較しながら全体の対話に参加させ、考えを深める。 ・最後に、順序を表す言葉、「何を作る」の文、写真、数字の無い教材文を電子黒板で提示し、工夫のよさを実感できるようにする。 □書き方の型を提示して、まとめの中に読み取ったことを書くことができるようにする。 ●＜作り方＞の説明の工夫を見付け、分かりやすい説明の仕方を考えている。
	4 課題解決 (1)学習場面を音読する。	
	(2)＜作り方＞の説明の工夫を整理する。 ・分かりやすかった部分を確認する。 *順序を表す言葉 *「何を作る」の文 *写真 *数字	
	(3)説明の工夫によって分かりやすい理由を話し合い、分かりやすい説明の仕方を考える。 ・各自の考えを書く。 ・グループで対話をする。 ・全体で意見交流する。	
5 学習のまとめ (1)本時の学習で学んだ、分かりやすい説明の仕方をまとめる。		
終末 3分	6 振り返り	・本時の学習を通して学んだことを発表し合い、共有させる。 ・次単元に向けて、本時の学習で学んだことを生かしていくことを伝え、意欲付けをする。
	7 次時予告	

【例】 分かりやすいせつめいをするには、じゅんじょをあらわすことばをつかったり、しゃしんをつかったり、長さや数を数字であらわしたりするとよいことが分かった。

(4) 板書計画

馬のおもちゃの作り方 かだい	せつめいのくふうをせいりして、 分かりやすいせつめいのし方を考えよう。	学しゆう① せつめいのくふう	写真 まず 馬の体やあしになるぶひんを作ります。 四センチメートル	写真 つぎに 馬の体を作ります。	写真 それから 馬のあしを作ります。 十二センチメートル	写真 さいごに 顔を作ります。	写真 これで 馬のおもちゃのでき上がりです。	学しゆう② 分かりやすい理ゆう	じゆんじよをあらわすことば ↓ 作るじゆんじよが分かりやすい。 「何をつくる」の文 ↓ 一文目に書かれていて分かりやすい。	しやしん ↓ 文のせつめいをたすける。 ↓ 長さや数がはっきりわかる	学しゆう③ 話したいわ まとめ	分かりやすいせつめいをするには、  ことが分かった。	ふりかえり
-------------------	----------------------------------------	----------------	--------------------------------------------	------------------------	---------------------------------------	-----------------------	------------------------------	-----------------	------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------	--------------------	----------------------------------	-------